

フット・ア・セット ガイドブック

Foot à 7



特集

スペシャルメッセージ

フィリップ・クヴィドゥ (FSGT フット・ア・セット責任者)

Foot à 7



審判がいない
線審もいない
タックルもスライディングもない
オフサイドもない
いつでも自由にメンバー交代
反則をしたなと思ったら自分で申告
もめたら話し合い?
そんなサッカーがおもしろい

フェアプレイ宣言

—スポーツの真の発展のために—

近年、わが国のスポーツ界において、暴力・しごき、金銭・人事をめぐるトラブル、大麻所持事件などが頻発し、スポーツに対する社会的な信頼が揺らいでいます。また、プレイの場面においても、ルールの無視やルール違反が多いの風潮が広がっています。こうした事態は、スポーツの発展に逆行するだけでなく、スポーツの存在意義を内部から突き崩す憂慮すべき問題です。

スポーツは本来、人間がより人間らしく発達するために、また生活をより豊か向上させるために、人類が生みだしたかけがえのない文化です。個人のレベルでは健康と楽しみをもたらし、技術の習得と能力の發揮による自己表現、達成感、そして他者との交流と連帯を創り出します。社会レベルでは、社会関係を豊かにし、諸国民間の相互理解と友好を促進し、平和に貢献します。

フェアプレイ精神は、なによりもスポーツの競技において、ルールに基づき公正に振る舞い、自己の最善を尽くし、相手を対等の仲間として尊重することから始まります。このフェアプレイ精神を發揮することは、スポーツの価値を高め、スポーツの真の発展に貢献します。フェアプレイ精神はスポーツの価値の核心をなし、明記されたルールの範囲でプレイすることを越えた意義を持っています。さらにフェアプレイ精神は、競技場だけでなく社会において発揮することによって人々を人間的にも成長させます。

スポーツへの政治の介入や過度な商業主義的利用を規制し、フェアプレイ精神を擁護し發揮することは、スポーツ団体・指導者・選手・スポンサー・メディア・観客などスポーツに関与するすべての人々の共通の責務となっています。

創立以来、スポーツを国民の基本的権利とスポーツの文化的荒廃を正すことに取り組んできた新日本スポーツ連盟は、あらためて、自らのすべての活動においてフェアプレイ精神を発揮することを宣言します。同時に新日本スポーツ連盟はあらゆるスポーツ関係者が「フェアプレイ精神によってスポーツの未来を拓く」ために、協力・共同することを呼びかけます。

2009年2月15日 新日本スポーツ連盟

目次

フェアプレイ宣言	2
フット・ア・セットとは？	4
競技規則	6
基本理念	
規則1－競技用コート	
規則2－使用ボール	
規則3－プレーヤー人數	
規則4－プレーヤーの装備用具	
規則5－メディアラー	
規定6－審判	
規定7－試合時間	
規定8－キックオフ	
規定9－インプレー・アウトオブプレー	
規定10－得点	
規定11－オフサイド	
規定12－反則と不正行為	
規定13－フリーキック	
規定14－ペナルティーキック	
規定15－タッチラインからのインプレー	
規定16－ゴールキック	
規定17－コーナーキック	
よくある質問	16
特集「フィリップからのメッセージ」	18
日本におけるフット・ア・セットの歴史	20
お問い合わせ先	22
2009年度の大会情報	23
Editor's voice	24

フット・ア・セットとは？



フット・ア・セットとは？

仏語 : Foot à sept ("7" という意味)

日本語 : 7人制サッカー

誕生地 : フランス セース・サン・ドニ県 (オーベルヴィリエ市)

発祥時期 (仏にて) : 1968 年

発祥時期 (日本にて) : 2003 年

競技拡大地域 : 日本、アルジェリア、パレスチナ、
デンマーク、コスタリカ、イタリ
ア etc

競技人口 (仏) : 約 20000 人、約 2000 チーム

※FSGT に加盟している人口・チームを示す。

誕生の由来 : 1968 年頃、工場のストの間に 11 人制サッカーコートで 7 人制サッカーをし始めたのが始まり。1970 年には 7 人制サッカーのリーグ戦も始まり、同時にセルフジャッジも導入となる。FSGT がその活動とセルフジャッジの精神に感銘を受け、FSGT とともに 7 人制サッカーがフランスだけでなく世界に拡大し始めた (2000 年に入り拡大は活発化)。



セルフジャッジ開始の動機…

「友人たちが審判をしたり、野次を飛ばしあっているよりもプレーすることを好んだ」

～『フット・ア・セット パンフレット』(2008 年 FSGT 発行) より仏語直訳

FSGT フット・ア・セット理念

フットアセットでは、プレーする喜びと友情の精神が結果よりも優れています。セルフジャッジにより、選手たちは自分たちで公正な試合展開を遂行し、それを保証します。各選手が、相手なしに試合が成り立たないことを意識する条件を作り出します。チームメイトに加えて、相手チームの選手たちは自分がプレーし上達することを手助けしてくれる仲間たちであるのです。

新日本スポーツ連盟のフット・ア・セット理念

「いつでも、どこでも、誰でも」の新日本スポーツ連盟理念に準ずる。

フット・ア・セットとは……

セルフジャッジにより審判に対する暴言や不満を無くし、自分たちのプレーに責任を持たし、接触プレーが減ることにより怪我の恐れが減り、そうすることで参加する楽しみが増えるスポーツであり…短時間で少人数ではあるがボールに触れる回数とプレーできる時間が増えて、各プレーヤーの満足感を得られるサッカーのことである。

FSGT(フランス労働者スポーツ・体操連盟)

- (1) 設立：1934年。今年で75周年。
- (2) 組織の基本性格：フランスにおける国民（労働者）スポーツの推進団体で最大のスポーツ組織。
- (3) 組織人数：約4000クラブ、250000人。地方組織が基本。その元に地域クラブ、企業クラブが加盟。各種団体は「専門部」的な位置づけ。サッカーが多い。
- (4) 財政：80%が会員の会費、17%が国の補助、3%がスポンサー（06年時点）。
- (5) 活動理念：「勝つことだけでなく、みんなのためのスポーツ」
- (6) その他：
 - ①本部はパリにあり、ビルの15階と12階に専従職員40名、地方組織は約100名の専従職員が働いている。
 - ②フランスオリンピック委員会へ1名の理事を送っている公認団体。



基本理念

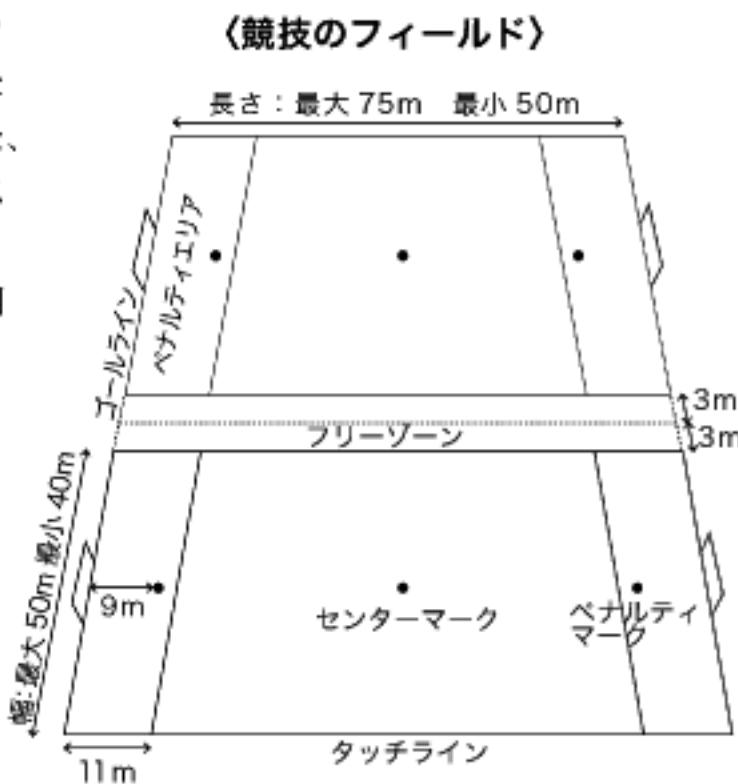
何よりもサッカーを楽しむ事を主眼とし、全ての選手がフェアプレー精神を発揮できる事を目的とします。

規則 1 – 競技用コート

競技用コートは以下の寸法による長方形である：

- * 長さ：50 ~ 70m
- * 幅：40 ~ 55m
- * ペナルティーエリア：11m
- * ペナルティーマーク：9m
- * ゴール：小学生用ゴール (5m×2.15m) が望ましい

実際には、11人制サッカーコートを二等分したコートを使用する。また、両コートの間にスペースを設ける。
※小学生用コートの代用も可



規則 2 – 使用ボール

小学生は 4 号球、中学生以上は 5 号球のサッカーボールを使用する。

規則 3 – プレーヤー人数

試合は両チーム 7 人ずつ（キーパー 1 人を含む）によっておこなわれる。選手交替の制限はなく、試合中何度も、またいつでも自由に交替できる。退場する選手は、交代選手と自陣ゴールライン上で入れ替わる。試合をおこなうのに最低限必要なプレーヤー人数は 5 人。4 人以下になると不戦敗となる。

規則 4 – プレーヤーの装備用具

チームの全ての選手はキーパーを除いて同じユニホームを着用する。キーパーは、対戦する両チームのフィールドプレーヤーが着用するユニホームと見分けられる色のユニホームを着用する。

レガース（すねあて）は必ず装用するようにする。

すべての装飾品を身につけることは禁止する。



フィールドプレイヤー



キーパー



レガース

規則 5 – メディアラー

○メディアラーの役割

両コート間に設けられたフリーゾーンに位置し、主にタイムキーパーを行うと共に、試合を観察し、対戦チーム同士の諍いがあった場合、両チームの要請によって仲裁をする事が出来る。試合はメディアラーの立ち会いの元、自主判定によって行われる。

○自主判定

全ての選手が審判である。反則をした選手はプレーを止めて合図をする。実戦ではしばしば反則を受けた選手やそのチームメイトで近くにいた選手が合図する。反則の同意の元にゲームを中断し、反則に準拠した判断の元にゲームが再開される。

○補則

メディアラーの介入をすぐに要請するのではなく、自分たちで試合をコントロールし、解決する努力を選手に期待する。本来、フットアセットにおいてメディアラーの介入が一度もないことが最も望ましい形である。

規則 6 – 審判

審判（副審）はつかない。

規則 7 – 試合時間

試合時間は 15 分ハーフを基本とする。但し、大会規定を優先する。

規則 8 – キックオフ

両チームのキャプテンがキックオフの際にボールをとるか陣地を選ぶかを決定する（コイントスまたはジャンケン）。

選手はそれぞれの陣地の中にいる。キックオフをおこなわないチームはボールから6メートル以上離れる。コート中央に置かれたボールは後方に出すことも可能である（というのはハーフウェイラインが存在しないからである）。

キックオフでの直接ゴールが可能。

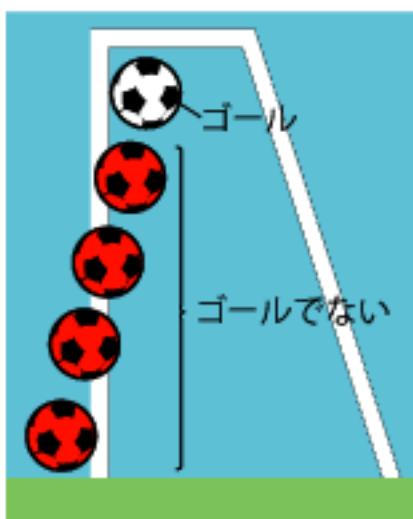
規則 9 – インプレー・アウトオブプレー

ボールがコートの枠内から完全に出るまでプレーは続行される。



規則 10 – 得点

得点は、ボールがゴールライン（ゴールポストとゴールバーの間）を完全に超えたときに有効となる。



規則 11－オフサイド

フット・ア・セットにおいてオフサイドは存在しない。

規則 12－反則と不正行為

11 人制サッカーの競技規則に準ずるが、タックル及びショルダーチャージも反則になる。スライディングタックル（相手がいないときのみ可）も反則となる。再開は相手チームの直接フリーキックになる。ペナルティエリア内で起きた反則はペナルティキックとなる。但し、ペナルティキックとならない場合もある。

キーパーへのバックパスに対してキーパーが手で処理することは可能である。キーパーはペナルティーエリアの中ならどこでも手でボールを扱うことができる。

A－直接フリーキックまたはペナルティーキックになる反則

- ① 相手を蹴る、蹴ろうとする
- ② 相手の足をはらう、足をかける
- ③ 相手の上に飛びかかる
- ④ 後方から相手にぶつかる
- ⑤ 相手を打つ、打とうとする
- ⑥ 相手をつかむ（ユニホームをつかむ）
- ⑦ 相手を押す

※故意に手や腕でボールに触れる、故意でなく体から離れた腕にボールが触れる（ペナルティーエリア内にいるキーパーを除く）



① 相手を蹴る、蹴ろうとする



② 相手の足をはらう、足をかける



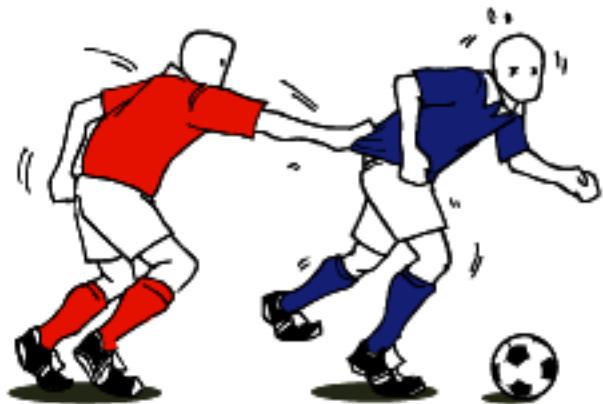
③ 相手の上に飛びかかる



④ 後方から相手にぶつかる



⑤ 相手を打つ、打とうとする



⑥ 相手をつかむ（ユニホームをつかむ）



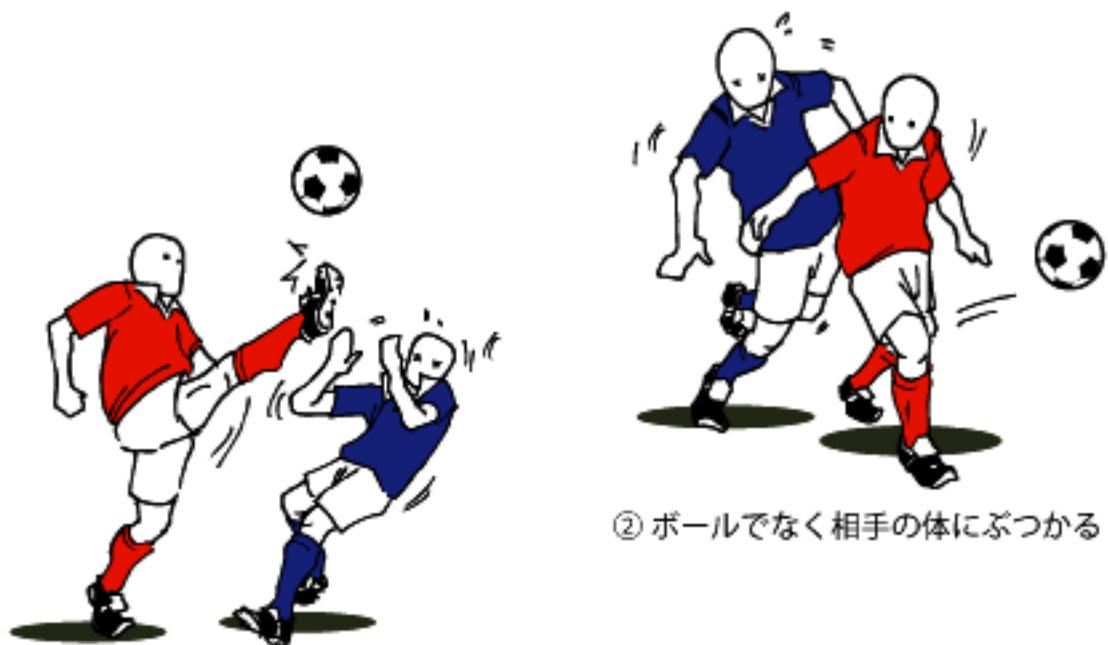
⑦ 相手を押す



※故意に手や腕でボールに触れる、故意でなく体から離れた腕にボールが触れる
(ペナルティーエリア内にいるキーパーを除く)

B - 直接フリーキックになる反則（ペナルティエリア内であっても反則を犯した地点から）

- ① 危険なプレーをする（足を高く上げる）
- ② ボールでなく相手の体にぶつかる
- ③ キーパーにぶつかる（オフサイドやゴールエリアは存在せず、ペナルティーエリア内のキーパーとの接触は、それが故意であったとき反則となる）



① 危険なプレーをする（足を高く上げる）



③ キーパーにぶつかる

C - 一時的な退場になる反則

- * タックルをする
- * 競技ルールに背く
- * 決定に従わない
- * 不誠実な行為をする

D－決定的な退場になる反則

- * 後方からタックルをする
- * キーパーを除いた最後のディフェンダーが相手選手を反則で止める
- * 試合を乱雑にした責任がある
- * 亂暴な行為や雑に振る舞う

注意：すべての反則は、その反則のあったのがゲーム進行中であつたときだけフリーキックに移される。



○一時的な退場

目的：暫定的に、また一定時間普通の状態にない選手に制裁を加える付加的な手段を与える。

課程：一時的な退場を決めた両チームまたはメディアラーが、その選手に口で合図する。

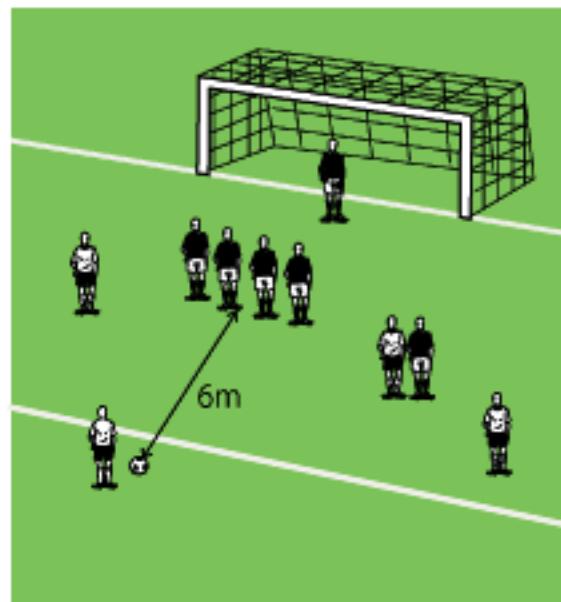
一時的な退場の時間は3分間。

試合中に一度制裁された選手が、その試合中にもう一度制裁された場合、その選手は決定的な退場になる。

規則 13—フリーキック

7人制サッカーでは、すべてのフリーキックが直接であり、フリーキックからの直接ゴールが認められる。相手チームの選手はボールから6メートル以上離れなければならない。

注意：ペナルティーエリア内で直接フリーキックを蹴ることがある。規則 12-B のように、例えばペナルティーエリア内で足を高く上げる反則はペナルティーキックにはならない。しかしながらゴールエリアが存在しないので、ゴールラインに近い位置での反則では、フリーキックはゴールラインから6メートル離れた位置からおこなわれる。



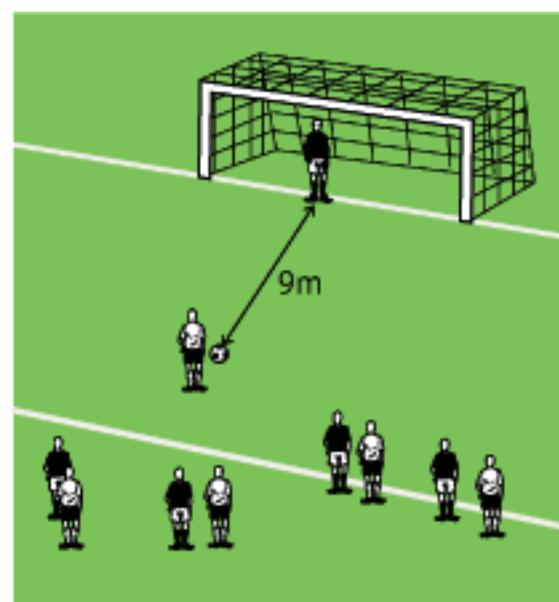
規則 14—ペナルティーキック

ペナルティーキックはペナルティーエリアの中で反則が犯されたときにおこなわれる（規則 12-A）。

ペナルティーキックはゴールから9メートル離れた地点でおこなわれる。

キーパーはボールが蹴られるまでゴールライン上にいなければならぬ。

他の選手はペナルティーエリアの外にいなければならない。



規則 15—タッチラインからのインプレー

タッチラインからのインプレーはキックインとなる。ボールは、それが出したライン上またはその近くに置かれる。相手選手はボールから6メートル以上離れなければならない。

キックインからの直接ゴールは認められない。その場合はゴールキックから試合が再開される。

規則 16—ゴールキック

攻撃側の選手が最後にさわってボールがゴールラインを割った場合、ゴールキックとなる。ゴールキックの際、相手チームの選手はペナルティエリアの外にいなければならない。

ゴールキックをおこなう側のチームの選手は、ペナルティエリア内のどこにボールをおいてゴールキックをおこなってもよい。

キーパーはスローで再開することもできる。

ゴールキックからの直接ゴールは認められない（相手側のゴールキックとなる）。

規則 17—コーナーキック

守備側の選手が最後にさわってボールがゴールラインを割った場合、試合はコーナーキックによって再開される。相手チームの選手はボールが置かれた位置から6メートル以上離れなければならない。



Q1 セルフジャッジの趣旨は？

一言でいえば、フェアプレーをルール化するために編み出された方法の一つと言えます。近年のサッカーでは、見つからない反則は何でもやって良いという風潮があり、審判に見えないところで相手をつかむ行為やユニフォームを引っ張る行為はアマチュアでも当たり前のように行われています。また、反則が戦術的に有効だとされる場合も少なくありません。こうした状況下では、フェアプレーは賞賛すべき努力目標に留まらざるを得ません。フット・ア・セットでは、セルフジャッジにより、フェアプレーをゲームの成立要件とすることを意図しているのです。

Q2 フット・ア・セットに戦術はあるの？

フォーメーションでいえば、2-3-1や3-2-1、2-2-2が基本になると言えます。フット・ア・セットでは接触プレーのないゲームが求められるので、11人制サッカーと比べて「ポジショニングの勝負」がよりゲームの勝敗を左右することになります。また、選手交替の自由やオフサイドがないことなど、ヴァリエーションの豊富な戦術を立てることを容易にします。既成概念にとらわれない、マイチーム戦術を発明してみてください。

Q3 セルフジャッジでは真剣勝負にならないのでは？

真剣にサッカーを楽しむことができます。言葉による説明よりも体験的に理解してもらえればと思います。結果のための真剣勝負から楽しむための真剣勝負へ。新たなスポーツ文化の構築への偉大なる挑戦です。

Q4 初心者でも楽しめる？

フット・ア・セットでは、いつでも何回でも自由に交替ができるので、サッカー経験の浅い方でもプレー機会が増えます。また、11人制コートの半分の広さなので、攻守の切り替えが早くボールに触る機会も多くなります。さらに、接触プレーのないゲームが求められるので、安心して一つひとつのプレーに集中できるようになります。セルフジャッジやオフサイドがないことなどのルールも含めて、フット・ア・セットは初心者でも誰でも楽しめる競技になっているといえます。

Q5 フット・ア・セットはフランスでは普及しているの？

FSGT（フランス労働者スポーツ体操連盟）が運営するセルフジャッジの7人制サッカー（フット・ア・セット）は、2000年には1000チーム・10000人がプレーし、2008年時点では2000チーム・20000人と増加傾向にあります。また、国際交流を通じて、日本のほかにもアルジェリア、パレスティナ、コスタリカ、デンマークなどにもフット・ア・セットを広めています。

Q6 フット・ア・セットはどこでできるの？

現在（2009年時点）のところ、宮城・東京・神奈川・大阪で定期的にフット・ア・セットの大会が開催されています。大会情報は新日本スポーツ連盟のHP（<http://www.njsf.net>）から検索してください。また、私の住んでいる地域でフット・ア・セットの大会を開催してみたいという場合には、運営スタッフを派遣して出前大会を開催することもしていきたいと考えています。興味のある方はぜひご連絡ください。



スペシャルメッセージ

フィリップ・クヴィドゥさん

FSGTフット・ア・セット責任者

フランス人と日本人が
審判なしでプレイできた
これは、重要な
デモンストレーションです



——東京、神奈川、大阪で開催されたフット・ア・セット大会の印象は？

フィリップ フランス人と日本人が審判なしでプレイすることに成功しました。私たちは良いチームを編成して訪日し、25試合以上をこなしましたが、非常に大変でした。試合レベルは高まっています。同じ言語を話すことなしに、決勝戦をたたかいもしましたが、まったく問題ありませんでした。これは重要なデモンストレーションです。

——その通りだと思います。あなた方の代表団はどのように構成されましたか？

フィリップ 日本に来た選手のみんながフット・ア・セットのチームの役員をしています。なので、みなフット・ア・セットをよく理解しています。

——それでは、日本でフット・ア・セットを発展させていくためには、どんなアイディアをお持ちですか？

フィリップ 大会の方式では、試合時間が短いです。攻撃側を行利にするためにキーパーへのバックパスを手で処理することを禁止する方がおもしろいのではないかでしょうか。フランスではこのルールを採用し始めました。

——日本での滞在全体の感想は？

フィリップ 日本でのすべての出会い、責任者たちとの話し合いは、私たちにFSGTとNJSF(スポーツ連盟)とのあいだに多くの共通点や交流すべき考え方があるのだということを確認するものでした。

私たちは、NJSFの受け入れと多様な活動のたくさんの当事者たちとの出会いとを高く評価しています。私たちの代表団の中には、私を除いて誰一人日本に来ることはませんでした。日本という国とその文化の発見は今回のスポーツ交流を本当の旅にしてくれました。

——では、今回の日本への旅行は、良いものとなったと言えますか？

フィリップ 日本はアジアの他の国々とも異なる国です。フランスは他のヨーロッパの国々と異なっています。この2つの国はもっともっと近づくことができるかもしれません。もしあなた方が望むなら、私たちはフランスと日本で私たちの交流をさらに発展させていく決心をしています。

——この交流の当面の展望は何ですか？

フィリップ 私たちはNJSFの代表団を2011年6月に受け入れられることを願っています。これは公式の招待です。





2003年

- ・10名の代表団をフランスに派遣。初めてフット・ア・セットを体験する。
- ・帰国後、東京で、それまで毎年開催されてきたミニサッカー大会をフット・ア・セットに乗り換えて大会を開催。
- ・大阪では、それまで行われてきた COPA7 という7人制の大会を審判を外すことでフット・ア・セットとしての大会を開催。

2004年

- ・神奈川では雨天のなか第1回のフット・ア・セット大会を開催。
- ・宮城、和歌山においてもフット・ア・セットの大会が開催。
- ・2004年以降、各都府県とも年1回以上は定期的に大会が開催されるようになる。



第1回神奈川フット・ア・セット大会

2007年

- ・FSGTからの招待により、2回目の代表団をフランスに派遣。南フランスのガルダンヌで国際大会（フランス数チーム・日本・イタリア・コスタリカ）に参加。日本チームはフェアプレー賞を獲得。
- ・フランス滞在中に FSGT のフット・ア・セット全国大会（モンテリマール）を観察。
- ・記念すべき第1回全国“交流”大会を宮城スタジアムで開催（5チームによる少人数開催）。



全国フット・ア・セット交流大会

2008年

- ・大阪で女子大会を全国で初めて開催。翌年には第2回大会を参加チーム増で開催。
- ・第2回全国交流大会を名古屋・港サッカー場で開催（東京・神奈川・大阪・和歌山から8チームが参加）。大会前日の夜には参加チームによる懇親会を実施。フット・ア・セット的で新日本スポーツ連盟的な試みにより、選手間の交流を深める。

2009年

- ・初めてフット・ア・セットのフランス代表団を招待。東京・神奈川・大阪で交流大会を開催。



2010年

- ・第3回全国交流大会を大阪・長居球技場で開催（予定）。

お問い合わせ先

④ 宮城県サッカー協議会

住所 〒980-0021 仙台市青葉区中央 4-9-15-201
TEL 022-211-1852
E-mail supomiya@palette.plala.or.jp

④ 東京都サッカー協議会

住所 〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 401 号室
TEL 03-3981-1345
E-mail soccer@t-njsf.net
ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~takakino/>

④ 千葉県サッカー協議会

住所 〒263-0024 千葉市稲毛区穴川 3-1-17
TEL 043-287-7353
E-mail njsf1970chiba@di.dion.ne.jp
ホームページ <http://shinnihon.ninja-web.net>

④ 神奈川県サッカー協議会

住所 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川 1-18-2 永田ビル 3 階
TEL 045-430-5665
E-mail kanaspo@tim.hi-ho.ne.jp
ホームページ <http://www.kanagawa-soccer-kyogikai.org>

④ 大阪府サッカー協議会

住所 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15 三双ビル 2F
TEL 06-6942-4751
E-mail info@njsf-ofa.jp
ホームページ <http://njsf-ofa.jp>

④ 和歌山県サッカー協議会

E-mail cfdhw900@jtw.zaq.ne.jp

④ 兵庫県サッカー協議会

住所 〒652-0804 兵庫区塚本通 7-2-17 セントアベニュー兵庫 2F-201
TEL 076-575-4885
E-mail info@sports-hyogo.com
ホームページ <http://www.geocities.co.jp/Athlete-Samos/7799/>

2009年度の大会情報

神奈川

第2回加藤杯

日時：2010年3月20日（土）

会場：秋葉台公園球技場

宮城

第47回宮城県スポーツ祭典フット・ア・セット大会

日時：2009年12月6日（日）

会場：グランディ（補助競技場）

参加費：1チーム3,500円

大阪

第7回COPA7シニア大会

日時：2010年1月24日（日）

会場：長居球技場

全国

第3回Foot à 7全国交流大会in大阪

日時：2010年2月21日（日）

会場：長居球技場

備考：各協議会推薦チームによる大会となります。



スポーツのひろば



2009
No.419

7・8 月合併号
定価450円

クラブ・チームを結ぶ機関誌

「スポーツのひろば」は新日本スポーツ連盟の機関誌です。スポーツ・パフォーマンスに役立つ情報から、身近なニュースまであらゆる記事が満載！是非購読されることをおすすめします。

CONTENTS

フランス生まれの7人制サッカー

フット・ア・セットの魅力

特集 スポーツの常識 ウソ？ホント？

バランスを鍛えるスタビリティトレーニング

発行＝新日本スポーツ連盟

ホームページ
<http://www.njsf.net>

東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402
TEL 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403

Editor's voice

自 分自身の難感を述べる前に、まずはこのガイドブック作成に携わり、リーダーシップをとり話を進めてこられたフット・ア・セット普及委員の方々に厚く御礼申し上げます。この企画に参加させて頂き、私自身にとってもかけがえのない経験となり素晴らしい活動を共に進められた幸せを感じております。

ひょんなことからフランスへ派遣していただき、その縁あって大阪を離れた今もフット・ア・セットの活動に関わらせてもらっています。新日本スポーツ連盟によるフット・ア・セットの普及はまだまだこれからですが、このガイドブックが全国各地に広がり、フット・ア・セットの輪が広がるといいですね。そうなるとフットアセット口伝定期戦なんか夢じゃないんじゃないですかね。世界に広がればフット・ア・セットW杯なんかも…。夢は広がる一方ですが、そんな夢を見てくれる新日本スポーツ連盟のサッカー協議会の方々にこれからも付いていきますよ!! (中本)

私 が代表団の一員として渡仏し、夜の部(?)でファンタジスタとして活躍して、はや8年。当時のメンバーが主となり昨年度から取り組んだガイドブック。とは言え私は役立たずでほとんど何もせず宇野・松野両氏に、まかせっきりでした。ですが、大阪府サッカー協議会の営業マンを自負する私にとっては、これからが本領発揮なのです!

このガイドブックを片手に色々な所に顔を出し「Foot à 7」を売り込みに行きたいと考えています。今後見直しが必要な所、付け加えるべき所等が出て来ていざれ改訂版が出て来ると思いますが今はこのガイドブックがベストだと思いますので、この聖書で布教活動

を行っていきます。改めてこのガイドブック作成に尽力した宇野・松野両氏及び、携わった皆さん御苦労様でした。そして、本当にありがとうございました。(富田)

フ ェアプレーをルールにできたら、って思いでフットアセットをプレーし、ガイドブック作成に携わってきたけれど、やればやるほどこの競技の奥の深さ、難しさ、魅力を自覚するようになったし、過剰な競争をあおる今日のスポーツ界の中にさわやかな風を吹き込んでくれるんじゃないかなっていう期待感も持つようになりました。

僕らに宣伝力さえあればもっともっとフット・ア・セットをやりたいって人が増えるはず。このガイドブックが、そんな僕らの宣伝力を試す格好の材料となることは間違いないわけで、不安もあるけれど、どんどん前に向かって活用していきたいと思います。(宇野)

か なりさぼっていた時期もあったけれど、改めて思うのは、ガイドブックを作るのは難しいなと…。取扱選択がこれほど難しいとは思わなかった。イラスト作成も思ったよりも苦戦した。見栄えは簡単なように思うけれど、何度も見返したことか…。

報われるのはいつの日になることやら…。「ガイドブック見たよ」そして、「フット・ア・セット楽しいね」そんな言葉が聞けた時、作ってよかったなあと思うんだろうなあ。(松野)

EDITORIAL STAFF /

宇野健治 佐藤一也 富田晃矢 中本健一
橋本圭司 松野俊一

ILLUSTRATION / 今井亮一

SPECIAL THANKS / 佐藤信樹

フット・ア・セット ガイドブック

2009年9月15日発行

Copyright ©2009 新日本スポーツ連盟全国サッカー協議会

編者：新日本スポーツ連盟全国サッカー協議会

住所：〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2 大住ビル402

TEL: 03-3986-5401 FAX: 03-3986-5403 ホームページ：<http://www.njsf.net>

Foot à 7

フット・ア・セット
ガイドブック